

◆外壁補修工事における写真管理について（令和7年度版）

・各工法における出来形写真・工程写真

ひび割れ部改修工法	出来形写真	・[着工前]と[補修後]とし、原則スケールをあてない。
	工程写真	・Uカット深さ・幅は寸法の分かる写真が必要。
浮き部改修工法	出来形写真	・[着工前]と[補修後]とし、原則スケールをあてない。 ・[補修後]写真は、ピン施工部(穴埋め前)の箇所毎の本数が確認出来る写真とする。
	工程写真	・ドリル長さ、ピン長のスケールをあてた写真が必要。
欠損部改修工法	出来形写真	・[着工前][研り後][隠蔽部][補修後]とし、原則スケールをあてない。 ・隠蔽部(欠損C、コーナー補修、躯体補修、ピンネット工法)は全箇所、露筋、ステンレスピン、ステンレス線、固定用ピンの写真が必要。※A1、A2工法等も研り後写真は必要(スケール不要)
	工程写真	・[着工前][研り後][隠蔽部(下地補修状況)][補修後]の写真が必要。

※各工法の出来形写真については、全てデータ提出とする。※フォルダの整理方法は監督員に確認の事。

・データ提出用参考写真



ピン施工部(穴埋め前)の箇所毎の本数が確認出来る写真とすること。

・黒板参考記載例

出来形写真例 例)A1工法	着工前	研り後(露筋ありの場合)	補修後																	
	<table><tr><td>工事名</td><td>〇〇〇改修工事</td></tr><tr><td colspan="2">〇棟〇面 A1工法 No1 [着工前]</td></tr><tr><td colspan="2">〇〇工業</td></tr></table> ・工事名、業者名が分かる様に記載 ・棟名、面、工法、番号、着工前程度の記載 ※寸法本数等は記載不要	工事名	〇〇〇改修工事	〇棟〇面 A1工法 No1 [着工前]		〇〇工業		<table><tr><td>工事名</td><td>〇〇〇改修工事</td></tr><tr><td colspan="2">〇棟〇面 A1工法 No1 [研り後] 露筋0.35m</td></tr><tr><td colspan="2">〇〇工業</td></tr></table> ・工事名、業者名が分かる様に記載 ・棟名、面、工法、番号、改修後程度の記載 ※黒板に寸法、本数等を記載(原則スケール不要)	工事名	〇〇〇改修工事	〇棟〇面 A1工法 No1 [研り後] 露筋0.35m		〇〇工業		<table><tr><td>工事名</td><td>〇〇〇改修工事</td></tr><tr><td colspan="2">〇棟〇面 A1工法 No1 [補修後]</td></tr><tr><td colspan="2">〇〇工業</td></tr></table> ・工事名、業者名が分かる様に記載 ・棟名、面、工法、番号、改修後程度の記載 ※寸法本数等は記載不要	工事名	〇〇〇改修工事	〇棟〇面 A1工法 No1 [補修後]		〇〇工業
工事名	〇〇〇改修工事																			
〇棟〇面 A1工法 No1 [着工前]																				
〇〇工業																				
工事名	〇〇〇改修工事																			
〇棟〇面 A1工法 No1 [研り後] 露筋0.35m																				
〇〇工業																				
工事名	〇〇〇改修工事																			
〇棟〇面 A1工法 No1 [補修後]																				
〇〇工業																				
出来形写真例 例)コーナー補修	隠蔽部[研り後]	隠蔽部(ステンレス線・ステンピン)	※露筋あり+ステンレスピン補強ありの 場合は[着工前]・[補修後]の間に 左の[研り後][ステンレスピン補強]の 写真が必要となる。																	
	<table><tr><td>工事名</td><td>〇〇〇改修工事</td></tr><tr><td colspan="2">〇棟〇面 コーナーD No1 [研り後] 露筋0.35m</td></tr><tr><td colspan="2">〇〇工業</td></tr></table> ・工事名、業者名が分かる様に記載 ・棟名、面、工法、番号、着工前程度の記載 ※黒板に寸法、本数等を記載(原則スケール不要)	工事名		〇〇〇改修工事	〇棟〇面 コーナーD No1 [研り後] 露筋0.35m		〇〇工業		<table><tr><td>工事名</td><td>〇〇〇改修工事</td></tr><tr><td colspan="2">〇棟〇面 コーナーD No1 ステンレスピン:3本 ステン線:0.5m</td></tr><tr><td colspan="2">〇〇工業</td></tr></table> ・工事名、業者名が分かる様に記載 ・棟名、面、工法、番号、着工前程度の記載 ※黒板に寸法、本数等を記載(原則スケール不要)	工事名	〇〇〇改修工事	〇棟〇面 コーナーD No1 ステンレスピン:3本 ステン線:0.5m		〇〇工業						
工事名	〇〇〇改修工事																			
〇棟〇面 コーナーD No1 [研り後] 露筋0.35m																				
〇〇工業																				
工事名	〇〇〇改修工事																			
〇棟〇面 コーナーD No1 ステンレスピン:3本 ステン線:0.5m																				
〇〇工業																				
横書きについて	※原則、横書き(説明書き)は不要。黒板誤記等がある際のみ記載。																			

◆外壁補修工事における写真管理について（令和7年度版）

・各工法における出来形写真・工程写真

ひび割れ部改修工法	出来形写真	・[着工前]と[補修後]とし、原則スケールをあてない。
	工程写真	・Uカット深さ・幅は寸法に分かる写真が必要。
浮き部改修工法	出来形写真	・[着工前]と[補修後]とし、原則スケールをあてない。 ・[補修後]写真は、ピン施工部(穴埋め前)の箇所毎の本数が確認出来る写真とする。
	工程写真	・ドリル長さ、ピン長のスケールをあてた写真が必要。
欠損部改修工法	出来形写真	・[着工前][研り後][隠蔽部][補修後]とし、原則スケールをあてない。 ・隠蔽部(欠損C、コーナー補修、躯体補修、ピンネット工法)は全箇所、露筋、ステンレスピン、ステンレス線、固定用ピン等の写真が必要。※A1、A2工法等も研り後写真は必要(スケール不要)
	工程写真	・[着工前][研り後][隠蔽部(下地補修状況)][補修後]の写真が必要。

※各工法の出来形写真については、全てデータ提出とする。※フォルダの整理方法は監督員に確認の事。

・データ提出用参考写真



ピン施工部(穴埋め前)の箇所毎の本数が確認出来る写真とすること。

・黒板参考記載例

	着工前	研り後(露筋ありの場合)	補修後
	工事名 ○○○改修工事 ○棟○面 A1工法 No1 [着工前] ○○工業 ・工事名、業者名が分かる様に記載 ・棟名、面、工法、番号、着工前程度の記載 ※寸法本数等は記載不要	工事名 ○○○改修工事 ○棟○面 A1工法 No1 [研り後] 露筋0.35m ○○工業 ・工事名、業者名が分かる様に記載 ・棟名、面、工法、番号、改修後程度の記載 ※黒板に寸法、本数等を記載(原則スケール不要)	工事名 ○○○改修工事 ○棟○面 A1工法 No1 [補修後] ○○工業 ・工事名、業者名が分かる様に記載 ・棟名、面、工法、番号、改修後程度の記載 ※寸法本数等は記載不要
出来形写真例 例)A1工法	隠蔽部[研り後]	隠蔽部(ステンレス線・ステンピン)	
	工事名 ○○○改修工事 ○棟○面 コーナーD No1 [研り後] 露筋0.35m ○○工業 ・工事名、業者名が分かる様に記載 ・棟名、面、工法、番号、着工前程度の記載 ※黒板に寸法、本数等を記載(原則スケール不要)	工事名 ○○○改修工事 ○棟○面 コーナーD No1 ステンレスピン:3本 ステンレス線:0.5m ○○工業 ・工事名、業者名が分かる様に記載 ・棟名、面、工法、番号、着工前程度の記載 ※黒板に寸法、本数等を記載(原則スケール不要)	※露筋あり+ステンレスピン補強ありの場合は[着工前]・[補修後]の間に左の[研り後][ステンレスピン補強]の写真が必要となる。
横書きについて	※原則、横書き(説明書き)は不要。黒板誤記等がある際のみ記載。		